

令和四年第四回議会定例会一般質問

「閉校する廃校舎の利活用について」

田中大 町民に対して、廃校舎の無料開放を検討すべきだ

少子化に伴う児童生徒数の減少等により、全国では毎年約450校程度の廃校施設が生じております。文部科学省発表によれば、全国公立学校で、2002年度から2020年度の8年間に発生した廃校数は、8,580校。施設が現存している7,398校のうち、活用されているものは、5,481校（74.1%）という調査結果でありました。

廃校施設は、町民の貴重な財産であり、町民サービスの観点からも、平内町を取り巻く社会環境からも、地域の実情やニーズを踏まえながら、有効活用についてしっかりと検証していく必要があります。当町においても、来年度、中学校3校が廃校となります。

町立体育館、旧浅所小学校体育館の利用状況を調査したところ、ほとんどが夜間の利用に集中しており、町内外問わず各種個人団体から利用の問い合わせがあるものの、ほとんどが断らなければならない状況にあるとのことでした。私もよく、個人や団体から、「スポーツをしたいが場所が見つからない。」「ダンス教室をしたいがどこも貸してくれない。」と多数の相談を受けている状況にあります。また、若い子育て世代からも、「休日、雨が降ったときに遊ぶ場所が無い。体育館を無料開放してくれれば、わざわざ青森市まで行かなくて済む。」との声も多く寄せられております。

建築物は放置しておくとも老朽化が進む一方です。常に利用して清掃を行うことで機能を保全することができます。身体を動かしたり適度な運動をすることは健康維持・増進につながります。高齢者や肥満傾向にある子ども達の運動不足解消にもつながります。一例として、健康維持のためウォーキングをしている方々に対し、冬期間校舎を開放すれば校内をウォーキングすることができます。そうすることで足を滑らせたり、雪上で滑って転んでケガをする確率も低下します。ケガの確率低下は、ひいては医療費の負担軽減にもつながります。また、東地区や西地区の方は、東平内中学校と西平内中学校の校舎を開放すれば、わざわざ小湊地区に移動する必要がな

くなり、移動の際のリスクである交通事故発生の確率低下にも資することができるものと考えます。その他、各校の思い出の資料等を展示して、地区の方々が各校の歴史と伝統をいつまでも持ち続けることができるよう配慮する必要があります。思い出を胸に、母校の校舎で健康維持・増進を図ることは、気分的にもリラックスして行うことができるのではないのでしょうか。

現時点で、廃校舎の利活用について見通しがあるのであればお知らせ願うとともに、決まっていなないのであれば、町民に対して各校の体育館や校舎の無料開放を検討すべきと考えますので、町当局の考えをお示し願います。

町長 現状では難しい

旧東映小学校に備蓄しております防災備品などを各中学校に分散して配置、新役場庁舎移転に伴う公文書や事務用品の保管、災害発生時の避難場所として活用を検討しています。なお、前定例会後に、県内の社会福祉法人より、西平内中学校を活用したい話がありました。4月以降、具体的に協議することになります。

小湊中学校をはじめ、3校とも約40年ほど経過して、諸設備に、不具合が多数見受けられる状態です。校舎及び体育館の無料開放という、不特定多数の方に門戸を開放するのは、安全面の確保、老朽化設備の改修工事のほか、光熱費や保守・点検などの維持費用、管理作業など、利用人数に対する費用対効果や、他に優先すべき町の事業も数多くあることを鑑みると、現状では難しいものと考えております。

田中大 町民の声に耳を傾けていただきたい

『現状では厳しい』との答弁でありましたが、直接、町民の声に耳を傾けていただき、真摯に受け止めていただきご検討していただきますようお願いいたします。



平内町 議会議員

田中大し通信

さらに前進！明日に取り組む！未来を創る！

夢も希望も大！ スローガンのもとで さらに前進！

政治塾 民主主義は、自治である

しばらくの間、中断されていたAOMORI政治塾が11月19日再開されました。演題は「民主主義とは」と題しまして、講師は前衆議院議長大島理森先生でした。長い政治経験を振り返り、自身の持論を講演していただきました。

自身も民主主義については、学びを深めてまいりたいと思います。



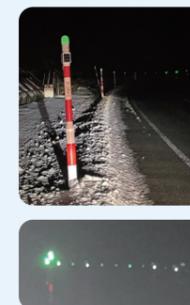
地域 町民1人1スポーツ活動

10月2日開催されました、ラジオ体操講習会に参加しました。町では、生涯学習のまちづくり推進事業の実践項目に「町民1人1スポーツ」を謳っており、その中の1つとして、誰もが場所を選ばず気軽に行える「ラジオ体操」の普及・推進に取り組んでいるとのこと、当日は約60人の参加者のもと、全国ラジオ体操指導委員の平井孝子先生、現役NHKテレビ・ラジオ体操アシスタント今井津美先生を迎えての指導の下、本格的講習会となりました。先生の説明を聞きながら体を動かしてみると、本当にその効果が実感でき、少し汗ばむほどでした。私は来年度も参加したいと思いました。皆さんも健康維持のため、気軽にできる「ラジオ体操」を始めてみてはいかがでしょうか。



成果あり 土屋バイパス、念願の誘導灯設置

国土交通省にお願いしていた土屋バイパスの片側ではありますが『視線誘導灯』が今季初設置されました。町民の安心安全のため、今後も様々な分野で訴えていきます。



地域 ありがとう小湊中学校

11月12日、小湊中学校閉校式に出席いたしました。76年の長きに渡り、1万余名の卒業生を輩出してまいりました。歴代PTA会長として感謝状をいただきました。生徒として、PTAとして、後援会として長い間携わってこれたことに感謝いたします。沢山の思い出をありがとうございました。



町政へのアイデア、ご提案、ご要望募集中！
皆様から頂いたお声は、議会での質疑や担当課へ直接要望するなど、責任をもって町へ届けます！

電話 017-763-0170 FAX 017-755-4295 携帯 090-3125-8752

メール tanakada_0525@yahoo.co.jp

※この新聞は後援会討議資料です



地域 環境活動

浅所海岸について考える

10月3日、白鳥を守る会主催『浅所海岸の干潟を考えるセミナー』に参加しました。実は今回から、白鳥を守る会に入会いたしました。『小湊のハクチョウおよびその渡来地』として文化財の指定をうけて、今年が100年目となるそうです。海草（コアマモ）、ほたて養殖、白鳥の関係を崩さないよう、守り続け、継承していくことが大事であります。



白鳥を守る会活動デビュー

10月8日（土）、白鳥を守る会の一員として、浅所海岸清掃活動に参加しました。胴付き長靴を装着して、海岸に漂着した木枝を片付けました。なかなかの重労働ではありましたが、白鳥の話題で盛り上がり、楽しく活動させていただきました。



清掃活動

6月4日に引き続き、10月1日に第一生命主催の椿山海岸清掃に参加。ボランティア日の中、多数の町民と楽しく活動させていただきました。声をかけていただきました方々に、深く感謝いたします。



地域 松葉会講演

田茂木地区へお邪魔してまいりました。松葉会の皆さん、ありがとうございました。

11月29日、田茂木地区老人クラブ『松葉会』にお邪魔させていただきました。当日は、当クラブの味噌づくり、その後、私の講演会という行事が行われました。私からは、『味噌についての最新調査結果について』『マイナンバーカードと今後について』『高齢者のデジタル対応について』『田中大の夢』を約1時間お話をさせていただきました。皆さんが熱心に聞いてくれた為に、つつい講演にチカラが入ってしまいました。

他団体の皆さん、いつでも声を掛けてください。喜んで講演させていただきます。

地域 商工会にて

令和5年3月までに登録必要『インボイス制度』

皆さん、『インボイス制度』聞いたことありますか。令和5年3月まで登録し、令和5年10月より始まります。簡単に言えば、消費税の課税事業者は、仕入れ等の際に適格請求書を受け取らないと仕入税額控除を受けられず、消費税の納税額が増えてしまいます。理解したうえで、期日までに登録をしましょう。

事業計画策定を学ぶ

10月20日、町商工会主催セミナーを受講しました。事業を進める上で必要な事業計画書の作成方法を学びました。商売・ボランティア・町政、どの事業にも共通し計画書が必要であります。1時間半と短時間のセミナーでありましたが、とても身になりました。



今後も、機会があれば積極的に参加してまいります。

『家族信託制度』ってご存知でしょうか？

表題の家族制度とは、多くの方が聞いたことがない制度です。私もそうでした。

11月10日商工会主催セミナーに参加して始めて聞きました。

簡単に言えば、自分の財産の管理権限を家族に託し、親に代わって家族が財産管理をすることで、資産凍結リスクを回避する法的制度です。65歳以上で6人に1人、80歳以上で2人に1人が認知症となる今日。相続制度をしっかりと認識しておく必要があります。



人生は、常に『学び』を忘れてはいけませんね。

課題 経済文教常任委員会所管事務調査報告書

期間：令和4年10月26日（水）13時半から 場所：役場3階議員控室
案件：農業行政について（原油・原材料価格高騰等による状況について）

現状

コロナ禍からの回復に伴う世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇している。農業生産資材類別価格指数によると、令和2年を100として、令和4年8月時点において、肥料は144.5、光熱動力は127.9、建築資材は135.2と大幅に上昇している。

対策

政府としては、令和3年11月19日閣議決定の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、エネルギー価格高騰への対応として燃料油価格の激変緩和事業や農業・漁業・運送業等の業界・業種ごとへの支援等を実施したほか、肥料の価格高騰対策として、海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用等の取組に対し支援を行っている。

- 施設園芸セーフティネット構築事業（公募終了）
- 化学肥料原料調達支援緊急対策事業（公募終了）
- 肥料コスト低減体系緊急転換事業（公募終了）
- 農林水産関連原油・原材料価格高騰等対策事業（募集終了）
- 肥料価格高騰対策事業（今後）

感想

当町の一次産業と言えば漁業ばかりに目を向けがちだが、実は農業も漁業以上に厳しい経営を強いられている。担当課の説明によれば、農協と連絡を密に、情報交換を心掛けていたとのことであった。県内に目を向けてみると、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響で家畜の飼料が高騰を続けていることから、大きな影響を受けているとのことで、8月に畜産農家や飼料業者などの6団体の関係者が青森県庁で三村知事に支援を要望しました。また、10月にはつがる市で価格高騰のなか農家の負担軽減を図るため2023年春の農作業に向けて価格を抑えた肥料や最新のスマート農業機器などの展示会が開催され農家の人たちが大勢訪れたとのことでした。更に南部町では、農業資材や肥料の高騰で経費負担が増大している農家を支援するため町独自の給付金の支給を行いました。対象となるのは町内で農業や畜産を営む1,200人あまりで、申請した人には15万円から25万円が給付されるということです。我が平内町でも来春も引き続き農業を継続できるよう町独自の支援策を考える必要性を痛感しました。

視察 大間町庁舎視察 『リース方式』を探る

令和8年竣工を目指している当町新庁舎建設について、12月16日大間町庁舎を視察してきました。大間町は、県内で唯一、役場建設にリース方式を導入し庁舎建設しました。当町も、リース方式実施を決定していることから、今回の視察となりました。メリット、デメリットを把握したうえで事業を注視してまいります。



応援 頑張れ 宏司さん

11月20日東奥日報3面に「平内産！すし店好調」という記事が載っていました。そう、三澤商店の御長男、三澤宏司さんでした。幼馴染で、柔道少年そして学力抜群な宏司さんでした。

私も、応援できることがあれば、ぜひお手伝いしてみたいです。

